

令和3年度の取組み報告

内容（施策）	No.	具体的取組み	主体となる機関(◎)協力して取り組む機関(○)						
			市	県	気象台	国	JR	WILLER	全但バス
タイムラインを作成し、タイムラインに基づき想定最大規模までの洪水氾濫を想定した情報伝達体制、方法について検証を行う。	1	想定最大規模までの洪水氾濫と土砂災害を想定した訓練、試行運用によるタイムライン試行版の検証（未策定機関は、策定）	○1	○	○2	◎3	○4	○5	○6
	2	① 洪水予報文の改善 ② 河川管理者による積極的な助言			◎7	◎			
地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。	3	② 適時適切な避難のため、あらゆる情報提供ツールを活用した情報伝達・啓発活動の継続実施	◎9	◎10	◎11	○12~13			
	4	④ 複数河川の氾濫を想定した計画規模以上の洪水に対する避難の判断基準やリードタイムを検討するとともに、地域性や被害特性を勘案した具体的な災害対応策を検証	○14~15	○	○16	◎17	○18	○19	○20
地域の浸水危険度を情報提供し、住民一人ひとりが「自らの生命は自ら守る」ということを基本に、平時から地域、家庭、職場等で防災への積極的な取り組みを行うよう促すなど、自主防災思想の普及、徹底を図る。	4	・ 全ての地域住民が避難できるよう地元組織で実施する避難経路や危険箇所の確認、避難訓練、災害時要援護者の支援などに取り組む減災防災運動を推進	◎21	◎22	○23	○24			
浸水想定区域図を元にハザードマップを作成し、地域毎での避難経路等の選定の促進を図る。	5	・ 浸水想定区域図の情報に基づき早期避難を要する区域・危険箇所等、災害危険度を明示した防災マップの周知	◎25	○					
地域毎の個別支援計画の策定や防災訓練の中で要援護者を対象とした訓練を盛り込む。	6	・ 各地域、箇所における災害危険度に基づく避難行動に関する要援護者個別支援計画の策定及び訓練の実施	◎26	○					
幼稚園、小学校、中学校における水災害教育として、洪水被害の歴史や身を守るための手段、地域や行政の対応策について学ぶ。	7	・ 学校園におけるメモリアル防災授業や防災出前講座の実施による防災教育の継続	◎27	○	○28	◎29			
啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。	8	・ 啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水氾濫時の被害想定やその対応策の内容を反映	○30	○		◎31			
	9	① 若年層の世代に特化した啓発活動の場の企画 ② 水害の恐れのある地域に住居することの危険性を認識できるよう、水害リスクをわかりやすく開示 ③ 教育機関、ラジオ等のメディア、地域コミュニティを活用した広報の充実 ④ 「地区防災計画」や「災害・避難カード」の作成促進 ⑤ 兵庫県住宅再建共済（フェニックス共済）の加入促進	○32 ◎35 ◎38 ◎42 ○43	○ ◎36 ○ ○ ◎44	○33 ○37 ○39	◎34 ○ ○40~41 ○			
	10	・ 災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため、必要な資機材の配備や防災ステーションの機能検証及び改善方策の立案・実施	○45	◎46~47		◎48			
	11	・ 迅速な災害対応の実施に向けたPDCAサイクルに基づく訓練と継続的な実施	◎49	◎		◎50			
	12	・ 地域コミュニティでの防災や減災活動に関する支援や活動内容の情報共有	◎51	◎52		◎53			
重要水防箇所の共通認識を促進する。	13	・ 重要水防箇所の定期的な見直しと、共通認識の促進	○54	○		◎55			
災害ボランティアの円滑な受け入れを促進する。	14	・ 災害ボランティアの円滑な受け入れを促進するための制度・枠組み等の創設	◎56	○		○			
建設業協会との連携・協働体制を強化する。	15	・ 建設業協会との応急復旧対策に関する事前調整等	◎57	◎58		◎59			
洪水氾濫時の庁舎等の機能維持に備える。	16	① 想定最大規模の洪水氾濫時を想定した防災施設・防災拠点の機能増強及び重要資機材への影響確認、避難施設等の機能維持に関する施策の立案	○60	○		◎			
	17	② 水防対応の手引きの作成・周知	○61	○		◎			
各機関、事業者における水害時BCP（事業継続計画）を作成する。	17	・ 災害時に迅速に減災、復旧活動が行えるように水害時避難確保計画・BCP（事業継続計画）の策定を推進	◎62	◎63		◎64	○65	○66	○67
洪水を安全に流すためのハード対策を実施する。	18	・ 河川整備計画に基づいた河川改修の実施				◎68			
豊岡市内での計画規模以上の洪水氾濫を想定した排水計画を策定し、内水対策を実施する。	19	・ 具体的な排水計画の立案				◎			
排水施設の耐水化を実施する。	20	・ 洪水氾濫時の耐水性の確認と耐水化対策の検討	◎	○		◎			
既存施設の有効活用。	21	・ 浸水被害低減に向けた既存ダムでの洪水調節機能の活用及び検証		◎69		◎70			

具体的取組

NO.1 想定最大規模までの洪水氾濫と土砂災害を想定した訓練、
試行運用によるタイムライン試行版の検証(未策定機関は、策定)

豊岡市

内容(施策)

タイムラインを作成し、タイムラインに基づき想定最大規模までの洪水氾濫を想定した情報伝達体制、方法について検証を行う。

目標時期

H29から継続

取組機関

市、県、気、国、交

取組概要

- 想定最大規模を想定したタイムラインの見直し
- 災害時における避難情報の伝達に差異が生じないよう、避難情報を発令する一定の条件の検証

取組内容および結果

避難情報の発令の基準の確認

国直轄管理区間の避難情報発令基準

- (1) 緊急安全確保…基準は堤防天端
 - 【円山川】水位計受持区間中、最も低い堤防天端の換算水位、ポンプ停止水位に設定
 - 【出石川】堤防天端高に達する恐れが高い場合
 - 【奈佐川】国の基準より前倒し、「氾濫危険水位」に設定
- (2) 避難指示…基準は氾濫危険水位
 - 【円山川・出石川】国の基準通り「氾濫危険水位」に設定
 - 【奈佐川】国の基準より前倒し、「避難判断水位」に設定
- (3) 高齢者等避難…基準は避難判断水位
 - 【円山川・出石川・奈佐川】国の基準より前倒し、「氾濫注意水位」に設定

兵庫県管理河川

- (1) 緊急安全確保
 - 水位計受持区間中、最も低い堤防天端の換算水位
- (2) 避難指示
 - 避難指示水位からリードタイムを60分として設定(氾濫危険水位)
- (3) 高齢者等避難
 - 避難勧告水位からリードタイムを30分として設定(避難判断水位)

出石川下流 弘原水位	円山川下流			市の避難情報	奈佐川下流 宮井水位	市の避難情報	指定河川洪水予報
	立野水位	赤崎水位	府市場水位				
5.27m以上	8.16m以上	8.63m以上	6.91m以上		5.09m以上		氾濫発生情報 警戒レベル5相当
(4.80m) ※1	7.16m ※2	(8.30m) ※3	(6.20m) ※3	緊急安全確保 警戒レベル5			
4.30m	6.20m	(7.00m)	(5.40m)	避難指示 警戒レベル4	4.90m	緊急安全確保 警戒レベル5 ※4	氾濫危険水位 警戒レベル4相当
3.40m	5.20m	(5.60m)	(4.40m)		4.10m	避難指示 警戒レベル4 ※4	避難判断水位 警戒レベル3相当
2.40m	4.50m	(4.60m)	(3.80m)	高齢者等避難 警戒レベル3	3.20m	高齢者等避難 警戒レベル3 ※4	氾濫注意水位 警戒レベル2相当
0.60m	2.50m	2.00m	2.00m		2.10m		水防団待機水位 警戒レベル1相当

出石川上流 矢根水位	稲葉川	八代川	六方川	奈佐川上流 野垣水位	竹野川		市の避難情報
	伊府水位	藤井水位	駄坂水位		森本水位	竹野水位	
4.30m	3.00m	—	—	3.20m	3.80m	—	緊急安全確保 警戒レベル5
3.80m	2.20m	—	—	2.60m	3.20m	—	避難指示 警戒レベル4
3.20m	1.90m	—	—	2.30m	2.80m	—	高齢者等避難 警戒レベル3
2.80m	1.80m	1.60m	2.80m	2.10m	2.20m	2.00m	
2.20m	1.50m	1.10m	1.90m	1.80m	1.30m	1.30m	

具体的取組	NO.3-② 適時適格な避難のため、あらゆる情報提供ツールを活用した 情報伝達・啓発活動の継続実施			豊岡市
内容(施策)	地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、気、国	
取組概要				
○防災マップの更新を行う ○「地域の災害リスク」を理解したうえで、「正しい避難行動」を身につけていただくため、区や地域コミュニティ等を対象とした出前講座で継続した啓発を行う。				
取組内容および結果				
2021年度に防災マップを更新する。(2016年以来5年ぶり)				
市民へ印刷物として配布するマップの仕様 【サイズ】 冷蔵庫等目に留まるところに貼っておけるA3版 【表面】 計画規模の降雨による洪水浸水想定と土砂災害警戒区域等を表示 【裏面】 自宅の災害リスクや避難行動の必要の有無を判断するための「避難行動判定フロー図」や重要な用語の解説等を掲載				
○想定最大規模(1,000年に1度程度)の降雨による浸水想定区域図については、小学校区単位のを区長等に配布するほか市ホームページに掲載				
○WEB版防災マップを公開し、市広報が届かない世帯や、市外居住者でも防災マップが確認できる環境を提供する。				
○防災ワークショップ等で、防災マップの活用方法の徹底や、平时に市民一人ひとりが「逃げ時」や「逃げ先」を定めておく「マイ避難カード」の作成促進について取り組む。				

具体的取組

NO.3-④ 複数河川の氾濫を想定した計画規模以上の洪水に対する避難の判断基準やリードタイムを検討するとともに、地域性や被害特性を勘案した具体的な災害対応策を検証

豊岡市

内容(施策)

地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。

目標時期

R2から適宜

取組機関

市、県、気、国、交

取組概要

- 過去の災害対応の教訓から、避難行動等について理解促進を図るため、市長自ら全区長(町内会長)に対し、直接訴える。
- 特に知っておいていただきたい内容について、市のホームページに特設コーナーを設け、引き続き啓発する。

取組内容および結果

2021年春季市政懇談会資料 市長が区長へ直接語り掛けたもの(抜粋)

2. 避難情報の変更について

(1)避難情報の変更 (2021年5月20日から)



- 避難指示で「危険な場
- 避難勧告は廃止

2. 避難情報の変更について

(2)避難情報の意味 (法律等に規定)



避難指示以上の情報が不安な方を対象に早

2. 避難情報の変更について

(3)発令の目安

- レベル4 避難指示
 - ✓ 円山川立野水位 6.20m
 - ✓ 地域別土砂災害危険度が基準を超えている
- レベル3 高齢者等避難
 - ✓ 円山川立野水位 4.50m

土砂災害危険度が基準を超えると予想さ

2. 避難情報の変更について

レベル5 緊急安全確保

- ✓ 災害発生時 (災害の発生を確実に把握できないため、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。)
- ✓ 大雨特別警報発表
- ✓ 円山川立野水位 7.16m → 排水ポンプ停止 内水急上昇
- ✓ 土砂災害が発生し、現場付近に残留者がいるとき

警戒レベル5

- すでに安全な避難ができず、命が危険な状態です
- 警戒レベル5の発令を待ってはいけません
- 警戒レベル4で避難を

2. 避難情報の変更について

(4)分散避難 市が指定した避難場所だけが避難先ではありません



市長が直接訴えかけることで、区長の関心、理解も格段に高くなっている

具体的取組	NO.3-④ 複数河川の氾濫を想定した計画規模以上の洪水に対する避難の判断基準やリードタイムを検討するとともに、地域性や被害特性を勘案した具体的な災害対応策を検証	豊岡市
--------------	---	-----

内容(施策)	地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。	
---------------	--	--

目標時期	R2から適宜	取組機関	市、県、気、国、交
-------------	--------	-------------	-----------

取組概要

○過去の災害対応の教訓から、避難行動等について理解促進を図るため、市長自ら全区長(町内会長)に対し、直接訴える。
 ○特に知っておいていただきたい内容について、市のホームページに特設コーナーを設け、引き続き啓発する。

取組内容および結果

市HPに各種情報、リンク先を添付し、多様な情報収集ができるようにしている。

災害・気象情報

- [田山川河川情報\(市内の雨量・水位等\)](#) (外部リンク) □
- [兵庫県の気象情報\(警報・土砂災害警戒情報等\)](#) (外部リンク) □
- [気象庁\(豊岡市の気象状況\)](#) (外部リンク) □
- [視覚障害者向け気象情報\(日本気象協会\)](#) (外部リンク) □

ライフライン情報

- [NTT西日本](#) (外部リンク) □
- [関西電力](#) (外部リンク) □
- [豊岡エネルギー](#) (外部リンク) □

交通情報

- [兵庫県道路情報\(国県道の規制・積雪等\)](#) (外部リンク) □
- [兵庫県道路公社\(播但連絡道路・遠阪トンネル\)](#) (外部リンク) □
- [NEXCO西日本](#) (外部リンク) □
- [日本道路交通情報センター](#) (外部リンク) □

災害用伝言サービス

- [災害伝言ダイヤル\(171\)](#) (外部リンク) □
- [災害用伝言板\(web171\)](#) (外部リンク) □

その他関連リンク

- [JR西日本](#) (外部リンク) □
- [京都丹後鉄道](#) (外部リンク) □

その他関連リンク

- [中央省庁など](#)
- [共済・ボランティア制度](#)

- [全但バス](#) (外部リンク) □

- [コウノトリ但馬空港](#) (外部リンク) □

内容(施策)

地域の浸水危険度を情報提供し、住民一人ひとりが「自らの生命は自ら守る」ということを基本に、平時から地域、家庭、職場等で防災への積極的な取り組みを行うよう促すなど、自主防災思想の普及、徹底を図る。

目標時期

H28から継続

取組機関

市、県、気、国、交

取組概要

- 出前講座を行い、避難行動要援護者の個別支援計画作成や避難路選定等の進め方を啓発する。
- 引き続き「マイ防災マップ」や「マイ避難カード」の作成を普及を図る。

取組内容および結果

出前講座では「いつ」「どこへ」を意識した避難行動が行えるよう、情報提供した。

地域の災害リスクを知るためには

まず始めに、
みなさんをお願いしたいことは・・・
行政区別防災マップの確認です！

自宅や隣保等の周囲にはどんな災害危険が潜んでいるのかを確認し、「自分は逃げるのか？留まれるのか？」をマップで確認してください。

【ポイント】
自宅が安全が確保できる方は、危険を冒してまで、不便で不自由な避難場所へ行く必要はありません！

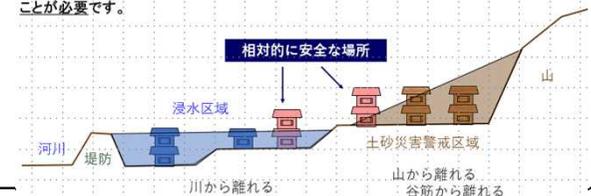


◎避難すべき人とは(例示)

- ① 外水氾濫で家屋倒壊の危険があるエリアの居住者
 - ・河川沿いのお宅などは区域外へ避難！
- ② 土砂災害警戒区域に立地する住宅の居住者
 - ・急傾斜沿いのお宅などは区域外又は、それが困難な場合は1列目より2列目というように少しでも離れた建物の2階の山とは反対側に！
- ③ 想定浸水深が3m以上の区域の2階建住宅より低い住宅の居住者
 - ・台風情報を入手し、危険な場合は区域外への早期避難！

ご近所避難(最悪、逃げ遅れた場合)

もし、安全が確保でき、安心もできるご友人宅への避難のタイミングを失った場合で、かつ集落内の全ての家屋が、「浸水区域」若しくは「土砂災害警戒区域」に立地しており、指定緊急避難場所が遠くにある場合どうするか？
その場合は、集落内などで「相対的に安全な場所の2階以上」に分散して避難する方法があります。これを実践するためには、平時に「誰が誰の家に避難するか」等を決めておくことが必要です。



◆風水害避難に係る地域での取り組みの流れ

- 1 防災マップで逃げる人・留まる人を事前に区分
- 2 避難行動要援護者の個別支援計画作成
 - ➡①台風等においては、同居、別居であろうと「家族、親族」で対応
 - ➡②次に、普段利用されている介護タクシーやショートステイなどの介護サービスの活用を検討(ケアマネジャーの協力を得る)
 - ➡③次に、隣保等、隣近所の仲間たちによる支援を検討
 - ➡それでも支援が難しいようなケースは、事前に市役所に相談を。福祉専門職等と相談のうえ、検討します。
- 3 避難先までの避難路を選定、確認
 - マイ避難カードによる区民の安全行動を普及啓発してください。
- 4 避難などのタイミングを確認・上記の取組・考え方を区民で共有
- 5 市民総参加訓練の後の時間を利用して避難に取り組む

具体的取組	NO.5 浸水想定区域図の情報に基づき早期避難を要する区域・危険箇所等、災害危険度を明示した防災マップの周知			豊岡市
内容(施策)	浸水想定区域図を元にハザードマップを作成し、地域毎での避難経路等の選定の促進を図る。			
目標時期	R2からR3まで	取組機関	市、県	
取組概要				
○ハザードマップの更新 ○出前講座を行い、避難行動要援護者の個別支援計画作成や避難路選定等の進め方を啓発する。				
取組内容および結果				
<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; text-align: center;"> 2021年度に防災マップを更新する。(2016年以来5年ぶり) </div>				
<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p>市民に配布する印刷物の防災マップ(2022年5月配布)</p> <p>【サイズ】冷蔵庫等目に留まるところに貼っておけるA3版</p> <p>【表面】計画規模の降雨による洪水浸水想定と土砂災害警戒区域等を表示</p> <p>【裏面】自宅の災害リスクや避難行動の必要の有無を判断するための「避難行動判定フロー図」や重要な用語の解説等を掲載</p> </div>				
<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p>○想定最大規模(1,000年に1度程度)の降雨による浸水想定区域図については、小学校区単位のを区長等に配布するほか市ホームページに掲載</p> </div>				
<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p>○WEB版防災マップを公開。市外にいても携帯電話で防災マップを確認できる。</p> </div>				
<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p>○防災ワークショップ等で、防災マップの活用方法の徹底や、平時に市民一人ひとりが「逃げ時」や「逃げ先」を定めておく「マイ避難カード」の作成促進について取り組む。</p> </div>				

具体的取組	NO.6 各地域、箇所におけるの災害危険度に基づく避難行動に関する要援護者個別支援計画の策定及び訓練の実施			豊岡市
内容(施策)	地域毎での個別支援計画の策定や防災訓練の中で要援護者を対象とした訓練を盛り込む。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県	
取組概要				
<ul style="list-style-type: none"> ○避難行動要援護者に対する個別支援計画作成までのフロー図を区長等に配布(市HPへも掲載)し、引き続き作成を促す。 ○市民総参加訓練(市民一斉避難訓練)実施に向けた取り組みの柱の一つとして明示し、啓発する。 ※災害時要援護者の支援者のボランティア保険料を豊岡市が負担する取り組みを平成29年度に創設。 ○ケアプラン等の作成時に災害時に必要な情報も盛り込んだ内容となるよう、事業者等へ要請する。 				
取組内容および結果				
避難行動要援護者対策 市では、避難行動要援護者が「いつ」、「誰が」、「誰を」、「どこに」避難させるかを定めた個別支援計画の策定を各区にお願いしている。また、個別支援計画の加入促進のため、支援いただく方には市がボランティア保険に加入。2021年11月末日時点での策定率は、48.9%(89区/182区)。				
福祉専門職との連携 区・自主防災組織が災害時要援護者の個別支援計画作成にあたり、どんな配慮が必要なのか福祉専門職にアドバイスが必要となった際に、市が福祉専門職とコンタクトを取り、福祉専門職から配慮事項などの助言が得られることでより実効性の高い個別支援計画が作成できるような仕組みづくりを構築する。				
訓練での検証 市民総参加訓練の実施にあたり、各区に対し、避難行動要援護者個別支援計画に基づく避難誘導を要請した。				
今後の取組み 災害対策基本法が改正(令和3年5月)され、個別避難計画の作成が市町村に努力義務化されたことに伴い、災害リスクと心身の状況等から緊急度が高いと判断される対象者については、市が作成の主体となり福祉専門職などの関係者と連携して、段階的に個別支援計画の作成を促進する。				

内容(施策)

幼稚園、小学校、中学校における水災害教育として、洪水被害の歴史や身を守るための手段、地域や行政の対応策について学ぶ。

目標時期

H28から継続

取組機関

市、県、気、国

取組概要

○台風23号メモリアル防災授業を市内全ての公立幼稚園・小中学校で実施(H28から継続した取組)。
防災授業では、国土交通省作成(市編集協力、写真資料集提供)の学年別教材を活用しての実施について引き続き啓発。

取組内容および結果

- 令和2年度までは、小学校(低・中・高学年)・中学校を対象とした水害の防災教育教材を作成。
- 令和3年度は、新たに園児(幼稚園・認定こども園・保育園)を対象とした水害の防災教育教材を作成。
- 上記に加え、小・中学校用防災教育教材の更新を行った。
- 市内小中学校及び幼稚園・認定こども園・保育園に対し、台風23号メモリアル授業(10月実施)に合わせて提供した。



○令和3年度 防災授業資料の活用実態

- 市内小学校 27校中、27校(100%)
- 市内中学校 9校中、9校(100%)
- 市内幼稚園・こども園・保育園 39園中、15園(38%)

※令和3年11月12日時点

年度	内容
2017	小学生(高学年)向け教材作成【豊岡河川国道事務所】
2018	小学生(低・中学年)向け教材作成【豊岡河川国道事務所】 平成16年台風23号の記録写真
2019	小学生向け教材の更新【豊岡河川国道事務所】
2020	中学生向け教材作成【豊岡河川国道事務所】 防災マップ 動画「これからの円山川～円山川緊急治水対策事業始まる～」【豊岡河川国道事務所】
2021	園児向け教材作成【豊岡河川国道事務所】 小・中学生向け教材の更新【豊岡河川国道事務所】

具体的取組

NO.8 啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水氾濫時の被害想定やその対応策の内容を反映

豊岡市

内容(施策)

啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。

目標時期

R2から継続

取組機関

市、県、国、交

取組概要

○地域コミュニティを対象とした出前講座を積極的に行う。

取組内容および結果

ワークショップをきっかけとしたこれからの取り組み例



水害・土砂災害による犠牲者を出さないために

目指すところ・・・地域社会が一体となって、自然災害に対応できるまちづくり



◆災害時においては、「自分や家族の命は自分で守る」、いわゆる「自助」が原則です。
◆地域で助け合い、自助のサポートをするのが「共助」の役割です。

地域コミュニティ・行政区で、主に取り組むこと

平時

1. 自助力の向上を図る p.3
(1)地域の水害・土砂災害の危険性を周知する
(2)水害・土砂災害時の避難の考え方を普及する
(3)「マイ避難カード」の作成を推進する

2. 災害時要援護者の避難を検討する p.11
(1)災害時要援護者における避難の考え方を共有する
(2)災害時要援護者の個別支援計画を作成する

災害時

3. 地域みんなで避難する p.18
(1)情報を収集する
(2)避難を呼びかける(声をかけあう)

4. 地域みんなで助け合う p.21
・指定緊急避難場所の運営を行う

5. 取り組みを継続する p.24
(1)地域コミュニティと行政区の役割
(2)ワークショップをきっかけにした取り組みの継続

資料編 p.27
(1)グループワーク(マイ避難カードの作成)のとりまとめ
(2)グループ討議(清滝地区として取り組んでいくことを考える)のとりまとめ
(3)他市町村での取り組み事例

具体的取組

NO.9-① 若年層の世代に特化した啓発活動の場の企画

豊岡市

内容(施策)

啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。

目標時期

H30から継続

取組機関

市、県、気、国

取組概要

○女性、子育て世代に情報提供できる機会を検討する。

取組内容および結果

地域での出前講座には、女性の参加を促すよう、主催者に要請した。

防災ワークショップでは、各区から3人の出席を依頼した際に、1人は必ず女性を、また若い年代の方にも参加いただくよう、各区に人選をお願いした。

県立日高高校で出前講座の実施(12/21)



具体的取組	NO.9-② 水害の恐れのある地域に居住することの危険性を認識できるよう、水害リスクをわかりやすく開示	豊岡市
--------------	--	------------

内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。
---------------	---

目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、気、国
-------------	---------	-------------	----------------

取組概要

○ハザードマップの更新

取組内容および結果

マップを更新。2022年5月、計画規模降雨の防災マップを配布。

WEB版防災マップを新規作成。2022年1月公開。
<https://arcg.is/n844m>

L2規模水害に対応していない避難場所の周知を引き続き行う。
L 2 不適避難場所の対応策
 (1) L 2 での想定浸水にも対応する避難場所への早期誘導
 (2) L 2 不適の避難場所であることの住民周知
 (3)救命胴衣等の配備
 (4)避難場所の指定見直し → 避難場所廃止 飯谷公民館（城崎）

L2規模水害に対応していない避難場所(7か所)
 但馬技術大学校2階体育館、納屋区会館、五荘地区コミュニティセンター、JAたじま農業センター、竹野南地区コミュニティセンター、国府地区コミュニティセンター、福住地区コミュニティセンター

内容(施策)

啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。

目標時期

H28から継続

取組機関

市、県、気、国

取組概要

- 台風23号メモリアル防災授業を市内全ての公立幼稚園・小中学校で実施する。
- 地域コミュニティでの防災ワークショップを引き続き実施する。

取組内容および結果

10.20メモリアルデー防災・減災授業等の取組み

防災授業の内容

- (1) 幼稚園・認定こども園
 - ア 防災に関するお話、紙芝居、絵本読み聞かせなど
 - イ 防災避難訓練
- (2) 小学校・中学校
 - ア メモリアル全校集会(全校放送含む)等
 - イ 学年・学級で防災授業
 - ウ 防災避難訓練等

2021年度「10・20メモリアルデー防災・減災授業」各校園実施計画								
学校名	実施日	全校的な取組			各学年学級の取組			
		実施	開始時間	実施内容	実施	時間(校時)	実施内容	使用教材等
合橋小学校	10月19日(火)	○	9:50	避難訓練 メモリアル集会(黙祷・学校長講話)	○	3,4,5	防災授業	国交省資料、風水害危険予測ワークシート、写真等
高橋小学校	10月19日(火)	○	9:45	避難訓練	○	2	防災授業	国交省資料
資母小学校	10月14日(木)	○	8:25	台風23号メモリアル集会(学校長講話・黙祷・写真資料活用・被災体験談)	○	1,2	防災授業	国交省資料
豊岡南中学校	10月20日(水)				○	4	防災授業	ワークシート、写真
豊岡北中学校	10月22日(金)				○	6	防災授業	国交省資料
港中学校	10月15日(金)	○	10:45	避難訓練(津波を想定)	○	3,4	防災授業	台風23号防災教育資料
城崎中学校	10月14日(木)	○	8:15	メモリアル放送集会(学校長講話・黙祷)	○	1	防災授業	台風23号防災教育資料
竹野中学校	10月8日(金)	○	12:50	集会(黙祷・講話)	○	3,4	防災授業	道徳教材、豊岡市防災マップ
日高東中学校	10月20日(水)				○	1	防災授業	台風23号防災教育資料等
日高西中学校	10月20日(水)	○	8:10	集会(学校長講話・黙祷・被災写真)	○	4	防災授業	台風23号防災教育資料
出石中学校	10月19日(火)				○	6	防災授業	国交省資料
但東中学校	10月20日(水)				○	5	防災授業	国交省資料、写真等
めぐみ幼稚園	10月20日(水)	○	10:00	防災集会(園長講話、担任講話・読み聞かせ)				記録写真
ひかり幼稚園	10月20日(水)	○	9:00	台風23号メモリアル集会(園長講話、資料写真活用等)、避難訓練	○			

具体的取組	NO.9-④ 「地区防災計画」や「災害・避難カード」の作成促進			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○「マイ避難カード」普及・啓発				

取組内容および結果
<p>出前講座を活用して「マイ避難カードの作成」を引き続き啓発。</p> <p>防災ワークショップや出前講座で「マイ避難カードの作成」を体験してもらい、多くの区民がマイ避難カードを作成する機会を設定する。 防災ワークショップを実施した地区には、「マイ避難カード」を全戸配布する。 →三方地区で実施。</p> <p>2020年度に防災ワークショップを開催し、全戸にマイ避難カードを配布、作成を依頼した地区で、進捗状況の調査を行い、必要なフォローアップを実施。 →ワークショップで「各区で取り組む」とした内容を再確認し、「誰が」「いつまでに」「どのようにして」取り組みを進めるのかを改めて確認するワークショップを八条地区で実施。</p>

具体的取組	NO.9-⑤ 兵庫県住宅再建共済(フェニックス共済)の加入促進			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県	
取組概要				
○フェニックス共済の加入促進について、兵庫県と連携して取り組む				

取組内容および結果
<div data-bbox="210 676 1975 762" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>市広報や出前講座で、フェニックス共済の普及啓発に努める。</p> </div> <div data-bbox="210 810 1975 963" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>防災ワークショップを実施した三方地区を「重点地区」に位置付け、パンフレットを配布する(3月を予定)など、兵庫県とともに啓発に取り組む。</p> </div>

具体的取組	NO.10 災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため、必要な資機材の配備や防災ステーションの機能検証及び改善方策の立案・実施			豊岡市
内容(施策)	水防拠点を整備し、災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため資機材やその数量の見直しを行う。			
目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○資機材の点検、計画的な配備に努める				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>備蓄資機材の点検 →土のう袋や土のう用の土を計画的に購入。</p> <p>損傷の激しい水防倉庫の修繕を検討 →2022年度予算で移築1か所、大規模修繕1か所実施。</p> </div>

具体的取組	NO.11 迅速な災害対応の実施に向けたPDCAサイクルに基づく 訓練と継続的な実施			豊岡市
内容(施策)	実働水防訓練の継続的な実施とその内容の見直しを行う。			
目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
<p>〇〇出水期を踏まえ、豊岡消防団と自主防災組織、国・県・市の行政職員、地元高校生が一体となって水防訓練を実施する。土のう作成や土のう積み訓練等を通じて、水災害の最前線で行われる消防団による水防活動の一端に触れることにより、水防技術と水防意識・知識の向上が図られたとともに、積み土のうを実施するうえでの連携しての対応について確認する。</p>				

取組内容および結果

「台風23号メモリアル水防訓練」の開催

日時 2021年6月実施予定

場所 六方河川防災ステーション

参加 豊岡消防団、自主防災組織、豊岡総合高校生徒、
国交省・兵庫県・豊岡市各職員 250人程度

**新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
2021年度のメモリアル水防訓練は中止した。**

具体的取組

NO.12 地域コミュニティでの防災や減災活動に関する支援や活動内容の情報共有

豊岡市

内容(施策)

地域コミュニティの活動を支援する。

目標時期

H28から継続

取組機関

市、県、国

取組概要

○地域防災力向上のために、防災に関する「ワークショップ」を地域コミュニティを単位として実施する。

取組内容および結果

ワークショップをきっかけとしたこれからの取り組み



訓練や検討を踏まえ、毎年見直す

地域コミュニティ・行政区
地域防災活動の手引き
水害・土砂災害編



2021年 11月
コミュニティ三方

三方地区から
水害・土砂災害による犠牲者を出さないために
目指すところ…地域社会が一体となって、自然災害に対応できるまちづくり



●災害時においては、「自分や家族の命は自分で守る」、いわゆる「自助」が原則です。
●地域で助け合い、自助をサポートするのが「共助」の役割です。

地域コミュニティ・行政区で、主に取組むこと

平時	1.自助力の向上を図る	p.3
災害時	2.避難行動要援護者の避難を検討する	p.10
	3.地域みんなで避難する	p.17
災害時	4.地域みんなで助け合う	p.20
	5.取り組みを継続する	p.23
資料編	資料編	p.26

具体的取組	NO.13 重要水防箇所での定期的な見直しと、共通認識の促進			豊岡市
内容(施策)	重要水防箇所の共通認識を促進する。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○国土交通省、消防団と重要水防箇所の点検・確認を行う。				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>重要水防箇所を含む共同点検は実施されなかったが、堤防等の不具合箇所に関する情報を消防団から受けられるよう、消防団事務局に依頼した。</p> </div>

<p>具体的取組</p>	<p>NO.14 災害ボランティアの円滑な受け入れを促進するための 制度・枠組み等の創設</p>			<p>豊岡市</p>
<p>内容(施策)</p>	<p>災害ボランティアの円滑な受け入れを促進する。</p>			
<p>目標時期</p>	<p>H30から継続</p>	<p>取組機関</p>	<p>市、県、国</p>	
<p>取組概要</p>				
<p>○受援計画を策定し、その検証を行う。</p>				
<p>取組内容および結果</p>				
<p>災害ボランティアセンター(以下VC)開設協力に係る協定の締結 VCの運営を行う豊岡市社会福祉協議会に協力するために、豊岡青年会議所・豊岡商工会議所青年部・豊岡市商工会青年部が2021年3月に「災害時における相互協力に関する協定」を締結。 【主な協定の内容】 ①被災地の状況とボランティア活動に関する支援ニーズの把握 ②VCの運営支援及び人的支援 ③物資・災害活動用資材の調達・仕分け・輸送の協力 ④避難所及び被災者への支援物資の供給</p>				
<p>災害ボランティアセンター合同研修会(参加者48人) 日時 令和3年9月24日(金)18:00~19:30 目的 ボランティアセンターの活動において大切にすることや運営方法について説明し、共通認識を深める。 内容 災害ボランティアセンター運営訓練</p>				

具体的取組	NO.15 建設業協会との応急復旧対策に関する事前調整等			豊岡市
内容(施策)	建設業協会との連携・協働体制を強化する。			
目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○建設業協会や各種協定締結団体との連携を強化する				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>出水期前に協定の内容や連絡先を双方で確認した。</p> </div>

具体的取組	NO.16-① 想定最大規模の洪水氾濫時を想定した防災施設・防災拠点の機能 増強及び重要資機材への影響確認、避難施設等の機能維持に関する施策の立案			豊岡市
内容(施策)	洪水氾濫時の庁舎等の機能維持に備える。			
目標時期	R2から適宜	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○洪水時に想定される庁舎の災害リスクを把握する				

取組内容および結果
<div data-bbox="212 654 1975 805" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>更新した防災マップにより、庁舎や避難施設の災害リスクを確認し、必要な処置を検討する。</p> </div> <div data-bbox="212 853 1975 1077" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>L2の浸水想定では、施設自体が浸水する恐れのある避難場所の代替として、緊急時には「但馬空港ターミナルビル」が利用できるよう、毎年、施設管理者と相談・調整を行っている。</p> </div>

具体的取組	NO.16-② 水防対応の手引きの作成・周知			豊岡市
--------------	-------------------------------	--	--	------------

内容(施策)	洪水氾濫時の庁舎等の機能維持に備える。			
---------------	---------------------	--	--	--

目標時期	R2から適宜	取組機関	市、県、国、交	
-------------	--------	-------------	----------------	--

取組概要

○洪水時に想定される庁舎の災害リスクを把握する

取組内容および結果

更新するハザードマップにより、庁舎や避難施設の災害リスクを確認し、必要な処置を検討する。

具体的取組	NO.17 災害時に迅速に減災、復旧活動が行えるように 水害時避難確保計画・BCP(事業継続計画)の策定を推進			豊岡市
内容(施策)	各機関、事業者における水害時BCP(事業継続計画)を作成する。			
目標時期	H28から適宜	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○要配慮者利用施設である特別養護老人ホーム等で進んでいる避難確保計画作成を踏まえ、避難訓練の実施を促す ○要配慮者利用施設である保育所・幼稚園等で進んでいる避難確保計画作成を推進し、避難訓練の実施を促す				
取組内容および結果				
避難確保計画の策定状況 策定が求められる施設 169施設 うち避難確保計画提出済み施設 169施設 →策定率100%を達成！				
避難確保計画に沿った訓練について 本年度、実施報告をおこなった施設 94施設 →訓練実施率55.6% 来年度、確実に訓練の実施・報告をしてもらうよう全施設に依頼(2月10日付)した。				
避難確保計画に沿った避難訓練の実施率の向上に向けて 訓練を実施した施設の訓練内容をホームページで紹介 https://www.city.toyooka.lg.jp/bosai/bosai/bosaikunren/1017984/1017985.html				
今後の取組み 訓練実施のヒントとなるよう、訓練実施方法やポイントをまとめたものをホームページに掲載し、各施設に通知予定。				

令和4年度の取組み予定

内容（施策）	No.	具体的取組み	主体となる機関(◎)協力して取り組む機関(○)						
			市	県	気象台	国	JR	WILLER	全但バス
タイムラインを作成し、タイムラインに基づき想定最大規模までの洪水氾濫を想定した情報伝達体制、方法について検証を行う。	1	・ 想定最大規模までの洪水氾濫と土砂災害を想定した訓練、試行運用によるタイムライン試行版の検証（未策定機関は、策定）	○72	○	○73	◎74	○75	○76	○77
	2	① 洪水予報文の改善 ② 河川管理者による積極的な助言		◎79	◎78	◎			
地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。	3	② 適時適格な避難のため、あらゆる情報提供ツールを活用した情報伝達・啓発活動の継続実施	◎80	◎81	◎82	◎83			
	4	④ 複数河川の氾濫を想定した計画規模以上の洪水に対する避難の判断基準やリードタイムを検討するとともに、地域性や被災特性を勘案した具体的な災害対応策を検証	○84	○	○85	◎	○86	○87	○88
地域の浸水危険度を情報提供し、住民一人ひとりが「自らの生命は自ら守る」ということを基本に、平時から地域、家庭、職場等で防災への積極的な取り組みを行うよう促すなど、自主防災思想の普及、徹底を図る。	4	・ 全ての地域住民が避難できるように地元組織で実施する避難経路や危険箇所の確認、避難訓練、災害時要援護者の支援などに取り組む減災防災運動を推進	◎89	◎90	○91	○			
浸水想定区域図を元にハザードマップを作成し、地域毎での避難経路等の選定の促進を図る。	5	・ 浸水想定区域図の情報に基づき早期避難を要する区域・危険箇所等、災害危険度を明示した防災マップの周知	◎92	○					
地域毎の個別支援計画の策定や防災訓練の中で要援護者を対象とした訓練を盛り込む。	6	・ 各地域、箇所における災害危険度に基づく避難行動に関する要援護者個別支援計画の策定及び訓練の実施	◎93	○					
幼稚園、小学校、中学校における水災害教育として、洪水被害の歴史や身を守るための手段、地域や行政の対応策について学ぶ。	7	・ 学校園におけるメモリアル防災授業や防災出前講座の実施による防災教育の継続	◎94	○	○95	◎96			
啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。	8	・ 啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水氾濫時の被害想定やその対応策の内容を反映	○97	○		◎98			
	9	① 若年層の世代に特化した啓発活動の場の企画 ② 水害の恐れのある地域に居住することの危険性を認識できるよう、水害リスクをわかりやすく開示 ③ 教育機関、ラジオ等のメディア、地域コミュニティを活用した広報の充実 ④ 「地区防災計画」や「災害・避難カード」の作成促進 ⑤ 兵庫県住宅再建共済（フェニックス共済）の加入促進	○99	○	○100	◎101			
			◎102	◎103	○104	○			
			◎105	○	○106	○107			
			◎108	○		○			
水防拠点を整備し、災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため資機材やその数量の見直しを行う。	10	・ 災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため、必要な資機材の配備や防災ステーションの機能検証及び改善方策の立案・実施	○111	◎112~113		◎114			
	11	・ 迅速な災害対応の実施に向けたPDCAサイクルに基づく訓練と継続的な実施	◎115	◎		◎116			
実働水防訓練の継続的な実施とその内容の見直しを行う。	11	・ 迅速な災害対応の実施に向けたPDCAサイクルに基づく訓練と継続的な実施	◎115	◎		◎116			
地域コミュニティの活動を支援する。	12	・ 地域コミュニティでの防災や減災活動に関する支援や活動内容の情報共有	◎117	◎118		◎119			
重要水防箇所の共通認識を促進する。	13	・ 重要水防箇所の定期的な見直しと、共通認識の促進	○120	○		◎121			
災害ボランティアの円滑な受け入れを促進する。	14	・ 災害ボランティアの円滑な受け入れを促進するための制度・枠組み等の創設	◎122	○		○			
建設業協会との連携・協働体制を強化する。	15	・ 建設業協会との応急復旧対策に関する事前調整等	◎123	◎124		◎125			
洪水氾濫時の庁舎等の機能維持に備える。	16	① 想定最大規模の洪水氾濫時を想定した防災施設・防災拠点の機能増強及び重要資機材への影響確認、避難施設等の機能維持に関する施策の立案	○126	○		◎			
		② 水防対応の手引きの作成・周知	○127	○		◎			
各機関、事業者における水害時BCP（事業継続計画）を作成する。	17	・ 災害時に迅速に減災、復旧活動が行えるように水害時避難確保計画・BCP（事業継続計画）の策定を推進	◎128	◎129		◎130	○131	○132	○133
洪水を安全に流すためのハード対策を実施する。	18	・ 河川整備計画に基づいた河川改修の実施				◎134			
豊岡市内での計画規模以上の洪水氾濫を想定した排水計画を策定し、内水対策を実施する。	19	・ 具体的な排水計画の立案				◎			
排水施設の耐水化を実施する。	20	・ 洪水氾濫時の耐水性の確認と耐水化対策の検討	◎	○		◎			
既存施設の有効活用。	21	・ 浸水被害低減に向けた既存ダムでの洪水調節機能の活用及び検証		◎135		◎136			

具体的取組	NO.1 想定最大規模までの洪水氾濫と土砂災害を想定した訓練、 試行運用によるタイムライン試行版の検証(未策定機関は、策定)			豊岡市
内容(施策)	タイムラインを作成し、タイムラインに基づき想定最大規模までの洪水氾濫を想定した情報伝達体制、方法について検証を行う。			
目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、気、国、交	
取組概要				
<ul style="list-style-type: none"> ○想定最大規模を想定したタイムラインの見直し ○災害時における避難情報の伝達に差異が生じないように、避難情報を発令する一定の条件の検証 				
取組内容および結果				
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p style="font-size: 1.2em;">現行の計画規模の洪水を想定したタイムラインを参考に、想定最大規模の洪水を考慮した内容を関係機関と共に検討する。</p> </div> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p style="font-size: 1.2em;">避難情報の発令の基準の確認</p> </div>				

具体的取組	NO.3-② 適時適格な避難のため、あらゆる情報提供ツールを活用した 情報伝達・啓発活動の継続実施			豊岡市
内容(施策)	地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、気、国	
取組概要				
○「地域の災害リスク」を理解したうえで、「正しい避難行動」を身につけていただくため、区や地域コミュニティ等を対象とした出前講座で継続した啓発を行う。				

取組内容および結果
<div data-bbox="215 735 1917 954" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>2021年度に更新した防災マップをもとに、「地域の災害リスク」を理解したうえで、「正しい避難行動」を身につけていただくため、区や地域コミュニティ等を対象とした出前講座で継続した啓発を行う。</p> </div> <div data-bbox="215 1034 1917 1182" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>各人、各家庭の避難のタイミング、避難先をあらかじめ決めておくためのツールとして、「マイ避難カード」の普及に努める</p> </div>

具体的取組	NO.3-④ 複数河川の氾濫を想定した計画規模以上の洪水に対する避難の判断基準やリードタイムを検討するとともに、地域性や被害特性を勘案した具体的な災害対応策を検証	豊岡市
--------------	--	------------

内容(施策)	地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。
---------------	--

目標時期	R2から適宜	取組機関	市、県、気、国、交
-------------	---------------	-------------	------------------

取組概要

- 過去の災害対応の教訓から、避難行動等について理解促進を図るため、市長自ら全区長(町内会長)に対し、直接訴える。
- 特に知っておいていただきたい内容について、市のホームページに特設コーナーを設け、引き続き啓発する。

取組内容および結果

出水期前の春季市政懇談会において、市長が区長へ直接語り掛ける。

市HPに各種情報、リンク先を添付することで、多様な情報収集ができるようにする。

外出先でも災害情報が確認できるよう、SNSによる災害情報の提供を試行する。

具体的取組

NO.4 全ての地域住民が避難できるよう地元組織で実施する避難経路や危険箇所の確認、避難訓練、災害時要援護者の支援などに取り組む減災防災運動を推進

内容(施策)

地域の浸水危険度を情報提供し、住民一人ひとりが「自らの生命は自ら守る」ということを基本に、平時から地域、家庭、職場等で防災への積極的な取り組みを行うよう促すなど、自主防災思想の普及、徹底を図る。

目標時期

H28から継続

取組機関

市、県、気、国、交

取組概要

- 出前講座を行い、避難行動要援護者の個別支援計画作成や避難路選定等の進め方を啓発する。
- 引き続き「マイ防災マップ」や「マイ避難カード」の作成を普及を図る。

取組内容および結果

出前講座では「いつ」「どこへ」を意識した避難行動が行えるよう、情報提供を行う。

各人、各家庭の避難のタイミング、避難先をあらかじめ決めておくためのツールとして、「マイ避難カード」の普及に努める。

具体的取組	NO.5 浸水想定区域図の情報に基づき早期避難を要する区域・危険箇所等、災害危険度を明示した防災マップの周知			豊岡市
内容(施策)	浸水想定区域図を元にハザードマップを作成し、地域毎での避難経路等の選定の促進を図る。			
目標時期	R2からR3まで	取組機関	市、県	
取組概要				
○ハザードマップの更新 ○出前講座を行い、避難行動要援護者の個別支援計画作成や避難路選定等の進め方を啓発する。				
取組内容および結果				
<p>2021年度に防災マップを更新。(2016年以来5年ぶり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2022年1月にWEB版防災マップの公開を予定。 ○2022年5月に市民へ印刷物による防災マップを配布。 				
<ul style="list-style-type: none"> ○出前講座や防災ワークショップ等で、防災マップの活用方法の徹底や、平時に市民一人ひとりが「逃げ時」や「逃げ先」を定めておく「マイ避難カード」の作成促進について取り組む。 				
<ul style="list-style-type: none"> ○8月28日(日)に開催する市民総参加訓練では、防災マップを確認したうえで、適切な避難行動を行えるよう啓発を行う。 【啓発例】自宅避難でよいのか、自宅以外への避難が必要か。 自宅以外の避難場所はどこか。どのような状態になれば避難を行うのか。 訓練までにあらかじめ決めておき、訓練日には避難を実践していただく。 				

具体的取組	NO.6 各地域、箇所におけるの災害危険度に基づく避難行動に関する要援護者個別支援計画の策定及び訓練の実施			豊岡市
-------	---	--	--	-----

内容(施策)	地域毎での個別支援計画の策定や防災訓練の中で要援護者を対象とした訓練を盛り込む。			
--------	--	--	--	--

目標時期	H28から継続	取組機関	市、県	
------	---------	------	-----	--

取組概要

- 避難行動要援護者に対する個別支援計画作成までのフロー図を区長等に配布(市HPへも掲載)し、引き続き作成を促す。
- 市民総参加訓練(市民一斉避難訓練)実施に向けた取り組みの柱の一つとして明示し、啓発する。
※災害時要援護者の支援者のボランティア保険料を豊岡市が負担する取り組みを平成29年度に創設。
- ケアプラン等の作成時に災害時に必要な情報も盛り込んだ内容となるよう、事業者等へ要請する

取組内容および結果

区に対し、引き続き、避難行動要援護者個別支援計画に基づく避難行動の支援を要請する。

区が避難行動を支援する避難行動要援護者の数を減らすため、多様な避難についての啓発を進める。

- ・離れて暮らしていても子どもや親族による避難支援
- ・普段利用している介護サービスの利用による避難
- ・災害リスクの高い区域に居住する避難行動要援護者に対して、「ホテル避難」に係る費用の助成

具体的取組	NO.7 学校園におけるメモリアル防災授業や防災出前講座の実施による防災教育の継続			豊岡市
内容(施策)	幼稚園、小学校、中学校における水災害教育として、洪水被害の歴史や身を守るための手段、地域や行政の対応策について学ぶ。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、気、国	
取組概要				
○台風23号メモリアル防災授業を市内全ての公立幼稚園・小中学校で実施する。 防災授業では、国土交通省作成(市編集協力、写真資料集提供)の学年別教材を活用しての実施について引き続き啓発する				
取組内容および結果				
<div data-bbox="217 699 1982 850" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>学齢に応じた防災教育資料を配布し、豊岡市の災害特性を理解できる防災授業を実施する。</p> </div> <div data-bbox="217 943 1982 1031" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>避難行動を自ら判断し、行動できるようメモリアル防災授業を実施する。</p> </div>				

具体的取組	NO.8 啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水氾濫時の被害想定やその対応策の内容を反映			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	R2から継続	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○地域コミュニティを対象とした出前講座を積極的に行う。				

取組内容および結果
<div data-bbox="212 694 1982 981" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>引き続き、地域コミュニティを対象とした出前講座を積極的に行う。</p> <p>これまでに、出前講座の要請のない地域コミュニティには、防災課から出前講座の開催を促す。</p> </div> <div data-bbox="212 1109 1982 1197" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>地域の指導役の方を対象とした、住民学習素材の提供に向け、検討を行う。</p> </div>

具体的取組	NO.9-① 若年層の世代に特化した啓発活動の場の企画			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H30から継続	取組機関	市、県、気、国	
取組概要				
○女性、子育て世代に情報提供できる機会を検討する。				

取組内容および結果
<div data-bbox="210 676 1975 762" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>事業所や、PTAなど子育て世代への出前講座の実施。</p> </div> <div data-bbox="210 858 1975 944" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>地域での出前講座には、女性の参加を促すよう、主催者に要請する。</p> </div> <div data-bbox="210 1040 1975 1126" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>SNSによる災害情報、避難情報の発信を試行する。</p> </div>

具体的取組	NO.9-② 水害の恐れのある地域に居住することの危険性を認識できるよう、水害リスクをわかりやすく開示			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、気、国	
取組概要				
○防災マップの提供				

取組内容および結果
<p>更新した防災マップを活用し、自宅や地域の災害リスクを理解できるように啓発を行う。</p>
<p>WEB版防災マップでL2規模の浸水想定を公表する。</p>
<p>L2規模水害に対応していない避難場所の周知を引き続き行う。 防災ワークショップや出前講座では、L2規模災害の襲来に備え、あらかじめ避難場所を決めておくことを啓発する。</p>

具体的取組	NO.9-③ 教育機関、ラジオ等のメディア、地域コミュニティを活用した広報の充実			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、気、国	
取組概要				
○地域コミュニティでの防災ワークショップを引き続き実施する。				

取組内容および結果
<div data-bbox="212 699 2042 912" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>防災ワークショップを継続して実施する。 地域コミュニティから区へ、区から区民へ、防災に関する情報が浸透するよう内容と進め方を検討して進める。</p> </div> <div data-bbox="212 997 2042 1145" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>地域での防災学習を支援するため、地域の指導役の方を対象とした、住民学習素材の提供に向け、検討を行う。</p> </div>

具体的取組	NO.9-④ 「地区防災計画」や「災害・避難カード」の作成促進			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○「マイ避難カード」普及・啓発				
取組内容および結果				
<p>自らの避難行動を平時に考えておく、マイ避難カードの普及・啓発を出前講座行う。</p>				
<p>防災ワークショップや出前講座で「マイ避難カードの作成」を体験してもらい、多くの区民がマイ避難カードを作成する機会を設定する。</p>				
<p>防災ワークショップを実施した地区には、「マイ避難カード」を全戸配布する。コミュニティや区役員がマイ避難カードの記入について区民に説明し、区民がマイ避難カードを作成する。作成状況については、後年度に調査を行い、必要なフォローアップも実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> →中筋地区では、全戸でマイ避難カードを作成し、2022年の市民総参加訓練にあわせ、避難行動の確認・検証を行う。 →八条地区では、2022年度の早い時期に全戸にマイ避難カードを配布。記入されたマイ避難カードを一度回収し、記載内容をコミュニティ組織でも共有する。 				

具体的取組	NO.9-⑤ 兵庫県住宅再建共済(フェニックス共済)の加入促進			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県	
取組概要				
○フェニックス共済の加入促進について、兵庫県と連携して取り組む				
取組内容および結果				
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; text-align: center;"> <p>市広報や出前講座で、フェニックス共済の普及啓発に努める。</p> </div>				

具体的取組	NO.10 災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため、必要な資機材の配備や防災ステーションの機能検証及び改善方策の立案・実施			豊岡市
内容(施策)	水防拠点を整備し、災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため資機材やその数量の見直しを行う。			
目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○資機材の点検、計画的な配備に努める				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>水害対策用物資の備蓄を計画的に行う。</p> </div>

<p>具体的取組</p>	<p>NO.11 迅速な災害対応の実施に向けたPDCAサイクルに基づく 訓練と継続的な実施</p>	<p>豊岡市</p>
--------------	---	------------

<p>内容(施策)</p>	<p>実働水防訓練の継続的な実施とその内容の見直しを行う。</p>
---------------	-----------------------------------

<p>目標時期</p>	<p>H29から継続</p>	<p>取組機関</p>	<p>市、県、国、交</p>
-------------	----------------	-------------	----------------

取組概要

○出水期を踏まえ、豊岡消防団と、国・県・市の行政職員が一体となって水防訓練を実施する。
土のう作成や土のう積み訓練等を通じて、水災害の最前線で行われる消防団による水防活動の一端に触れることにより、水防技術と水防意識・知識の向上を図るとともに、積み土のうを実施するうえでの連携しての対応について確認する。

取組内容および結果

「台風23号メモリアル水防訓練」の開催

日時 2022年6月12日(日)実施
 場所 六方河川防災ステーション
 参加 豊岡消防団、国交省、兵庫県但馬県民局、
 豊岡市各職員100人程度

訓練の効果

水防活動の知識を身に着けることができている。
 訓練により、有事の際の連携もとりやすくなっている。

具体的取組	NO.12 地域コミュニティでの防災や減災活動に関する支援や活動内容の情報共有			豊岡市
内容(施策)	地域コミュニティの活動を支援する。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○地域防災力向上のために、防災に関する「ワークショップ」を地域コミュニティを単位として実施する。				

取組内容および結果

引き続き、地域コミュニティでの「防災ワークショップ」に取り組む

防災ワークショップで目指すもの

- ① 地域の災害リスクを確認する。
↓
- ② 地域の問題点を知る。(避難場所、避難のタイミング、要援護者の支援方法、住民の防災意識など)
↓
- ③ 住民、区、コミュニティなどの役割を知る。(意識啓発、物資の備蓄、訓練、避難所運営等)
↓
- ④ ①、②、③を踏まえ、それぞれの組織で検討すべきことを整理し、具体的な対応について検討し、実現に向け取り組む。

地域コミュニティで取り組んでいる防災活動の支援を行う。
活動内容を市HPに掲載し、コミュニティ間での情報共有やレベルの底上げにつなげる。

「ひょうご防災リーダー講座」の参加促進(特に女性の参加を促進する)

具体的取組	NO.13 重要水防箇所の定期的な見直しと、共通認識の促進			豊岡市
内容(施策)	重要水防箇所の共通認識を促進する。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○国土交通省、消防団と重要水防箇所の点検・確認を行う。				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>重要水防箇所を含む共同点検に参加する。</p> </div>

具体的取組	NO.14 災害ボランティアの円滑な受け入れを促進するための 制度・枠組み等の創設			豊岡市
内容(施策)	災害ボランティアの円滑な受け入れを促進する。			
目標時期	H30から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○受援計画を策定し、その検証を行う。				

取組内容および結果
<div data-bbox="210 676 1973 762" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 20px;"> <p>受援計画を策定し、訓練を通じ検証を行う。</p> </div>

具体的取組	NO.15 建設業協会との応急復旧対策に関する事前調整等			豊岡市
内容(施策)	建設業協会との連携・協働体制を強化する。			
目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○建設業協会や各種協定締結団体との連携を強化する				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>出水期前に協定の内容や連絡先を双方で確認する機会を設ける。</p> </div>

具体的取組	NO.16-① 想定最大規模の洪水氾濫時を想定した防災施設・防災拠点の機能 増強及び重要資機材への影響確認、避難施設等の機能維持に関する施策の立案			豊岡市
内容(施策)	洪水氾濫時の庁舎等の機能維持に備える。			
目標時期	R2から適宜	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○洪水時に想定される庁舎の災害リスクを把握する				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px;"> <p> 本庁舎、城崎庁舎が浸水想定区域内にあることを確認。 浸水時に想定されるリスクを検討する。 </p> </div>

具体的取組	NO.16-② 水防対応の手引きの作成・周知			豊岡市
内容(施策)	洪水氾濫時の庁舎等の機能維持に備える。			
目標時期	R2から適宜	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○洪水時に想定される庁舎の災害リスクを把握する				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px;"> <p>ハザードマップにより、庁舎や避難施設の災害リスクを確認。浸水想定区域内の本庁舎、城崎庁舎での業務継続に必要な処置を検討する。</p> </div>

具体的取組	NO.17 災害時に迅速に減災、復旧活動が行えるように 水害時避難確保計画・BCP(事業継続計画)の策定を推進			豊岡市
内容(施策)	各機関、事業者における水害時BCP(事業継続計画)を作成する。			
目標時期	H28から適宜	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
<ul style="list-style-type: none"> ○要配慮者利用施設である特別養護老人ホーム等で進んでいる避難確保計画作成を踏まえ、避難訓練の実施を促す ○要配慮者利用施設である保育所・幼稚園等で進んでいる避難確保計画作成を推進し、避難訓練の実施を促す 				
取組内容および結果				
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p> 特別養護老人ホーム等で避難確保計画作成済みの施設は、計画の検証のため、あらかじめ取り決めた避難先(指定緊急避難場所や上層階への避難)への避難訓練に取り組むよう要請する。 </p> </div>				